

〈テーマ〉予習型宿題を授業の導入で取り上げた取組（大河原町立大河原中学校）

授業の終結時

【宿題の提示】

授業の内容の定着を図る「復習型宿題」に加えて、次時の内容の予習として「予習型宿題」を出題する。

【ちょこっと予習】



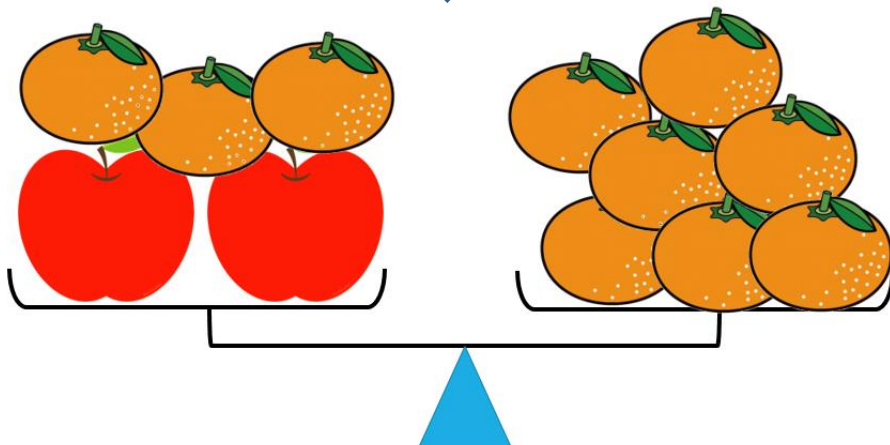
天秤がつりあっています。🍎は🍊何個分ですか？

次時の授業の導入時

【宿題の確認】

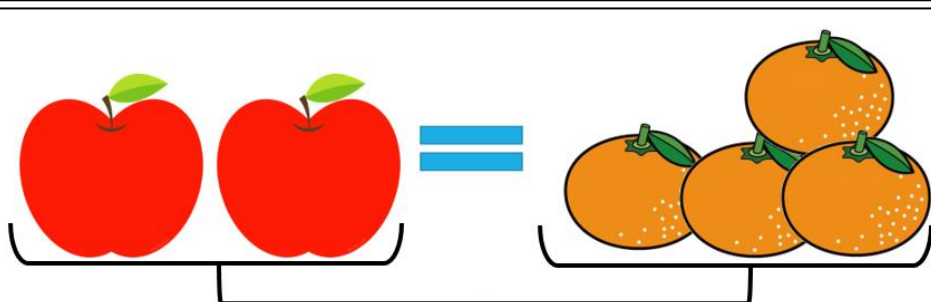
①「復習型宿題」

授業時間の確保のため、復習型宿題の解答は、休憩時間のうちにモニター（液晶プロジェクタ）に映しておく。授業開始後、短時間で確認する。



②「予習型宿題」

生徒は取り組んできた宿題をもとに課題に取り組んでいく。生徒は、宿題で考えてきた内容なので自信をもって取り組むことができる。



同じものなら  
ひいてもオッケー

〈成果と課題〉

- 数学の学習では、既習事項を基にして学習することが多い。「予習型宿題」に取り組ませることにより、生徒は自信をもって学習に臨むことができ、教師は短時間で既習事項を確認することができた。
- 「予習型宿題」の内容は、欲張らず、次時の導入に絞ったほうが効果的であった。
- 宿題の内容と授業の組立て、ICT機器の準備等、教材研究の時間の確保が不可欠である。